

クジラの島の少女 (2002)

WHALE RIDER

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 ニュージーランド／ドイツ

色彩 Color

時間 102分

初公開日 2003/09/13

公開情報 日本ヘラルド映画

【キャッチコピー】

運命に、立ち向かえ。

ニュージーランド、マオリの神話。一人の少女の無垢な魂が、奇跡を呼び起こす。

【解説】

マオリ族出身の作家ウィティ・イヒマエラの原作を、ニュージーランドの女性監督ニキ・カーロが映画化。時代の流れの中で次第に伝統的価値が薄れつつあるマオリ族を舞台に、伝統を守ろうと奮闘する長老たちの苦悩や、女であるために伝統を継ぐことを許されない少女がそれでも因習を打ち破り自ら運命を切り開こうとする一途な姿を描く。2003年のサンダンス映画祭観客賞をはじめ各地の映画祭で“観客賞”の栄誉に輝いた。

ニュージーランドの小さな浜辺の村。祖先の勇者パイケアがクジラに導かれこの地へ辿り着いたという伝説を語り継ぐマオリ族。彼らは代々男を族長として村を守り続けてきた。ある時、族長の長男ポロランギは双子の男女を授かった。だが、喜びも束の間、男の子と母親は出産時に命を落としてしまう。ポロランギは悲しみに暮れ、一人娘を残して村を去って行った。娘は伝説の勇者と同じ名前パイケアと名付けられ、祖父母のもとで育てられる。パイケアが12歳になった時、村では彼女と同年代の少年たちが集められ後継者育成の訓練が始まる。しかし、女であるパイケアはその訓練への参加を許されなかった…。

【クレジット】

監督	ニキ・カーロ	Niki Caro	
製作	ジョン・バーネット フランク・ヒュブナー ティム・サンダース	John Barnett Frank Hubner Tim Sanders	
製作総指揮	ビル・ギャヴィン リンダ・ゴールドスタイン・ノウルトン	Bill Gavin Linda Goldstein Knowlton	
原作	ウィティ・イヒマエラ	Witi Ihimaera	
脚本	ニキ・カーロ	Niki Caro	
撮影	レオン・ナービー	Leon Narbey	
衣装	カースティ・キャメロン	Kristy Cameron	
編集	デヴィッド・コウルソン	David Coulson	
音楽	リサ・ジェラード		
出演	ケイシャ・キャッスル＝ヒューズ ラウイリ・パラテネ ヴィッキー・ホートン	Keisha Castle-Hughes Rawiri Paratene Vicky Haughton	パイケア コロ フラワーズ

クリフ・カーティス
 Grant Roa

Cliff Curtis
 Grant Roa

ポロランギ